地域のきずな

防災シンポジウム

平成27年1月18日(日) 9時から12時

会場 松山市総合コミュニティセンター キャメリアホール

“一人でも多くの人を笑顔に 幸せ実感都市 松山”

松山市では、「環境・安全安心で幸せ実感」を基本政策の一つに掲げ、「災害に強いまちづくり」に積極的に取り組んでいます。

地域防災力の充実のため、自主防災組織にリーダーとなる防災士の養成を進めるとともに、災害時に児童・生徒の安全を守るため、市内の小中学校、幼稚園、保育所にも防災士を養成しています。

私自身も、防災の知識や経験、意識を高め、本市の防災にいかしたいという思いで防災士の資格を取得しました。平成26年11月末現在、本市全体の防災士数は2,332名で自治体では日本一を誇っています。

今後も、住民と行政がそれぞれの役割分担の中で、自主防災組織の自発的な防災活動を積極的に進めるとともに、意識の高揚に取り組み、更なる地域防災力の向上を目指してまいりますので御協力をお願いします。

松山市長 野志 克仁

■共催：松山市・松山市消防団・松山市自主防災ネットワーク会議・松山市女性防火クラブ連合会・NPO法人 日本防災士機構・愛媛大学防災情報研究センター

防災シンポジウム

平成27年 1月18日(日) 9時から12時
会場 松山市総合コミュニティセンター キャメリアホール

プログラム

第1部	9:00	開会式・表彰式
第2部	9:20	**隗より始めよ** ～侮るな地域力 出来るだけ行政に頼らない地域力～ 菅原 康雄（宮城県仙台市宮城野区福住町町内会会長） **近年の自然災害と防災士の役割** 矢田部 龍一（愛媛大学防災情報研究センター長） **松山市自主防災組織の活動事例** 川口 忠夫・森川 孝吉（久枝地区自主防災会連合会）
第3部	11:00	パネルディスカッション **地域のきずな** ～地域をつなぐ防災士の活動～ コーディネーター 矢田部 龍一（愛媛大学防災情報研究センター長） パネリスト 藤島 寛昌（東雲地区自主防災会連合会会長 防災士） 山田 耕二（松山市立椿小学校教頭 防災士） 村上 直美（松山市立石井幼稚園教諭 防災士） 安田 和美（ダイキ株式会社 防災士） 烏谷 陽一郎（松山市消防団 道後分団長）
	12:00	閉会

出演者紹介

隗より始めよ ～侮るな地域力 出来るだけ行政に頼らない地域力～

菅原 康雄 宮城県仙台市宮城野区福住町町内会会長
（すがわら やすお）
1947年（昭和22年）生まれ67歳。
地元・福住町で菅原動物病院の院長を務めながら、町内会会長として地域の防災活動に取り組む。町内会で積極的に災害への備えを実践しており、東日本大震災には、ライフラインが止まるなか、発災日の夜から、食事、寝具、照明、暖房を提供する。また、災害時相互協力協定を締結していた他県団体から食料品を中心に支援物資が届けられ、その物資を他の被災地へ届けるなど支援活動も行っている。
平成17年に「防災功労者防災担当大臣表彰」、平成20年に「あしたのまち・くらしづくり活動賞 振興奨励賞」、平成25年に「第3回地域再生大賞 特別賞」など、数多くの受賞歴がある。

近年の自然災害と防災士の役割

矢田部 龍一 愛媛大学防災情報研究センター長
（やたべ りゅういち）
1952年（昭和27年）生まれ63歳。
京都大学工学研究科修士課程を修了後、愛媛大学助教授などを経て、2011年（平成23年）愛媛大学理事・副学長、愛媛大学防災情報研究センター長、2012年（平成24年）愛媛大学社会連携推進機構長を務める。
博士（工学）（京都大学 地盤工学）取得

松山市自主防災活動事例

川口 忠夫
（かわぐち ただお）

森川 孝吉
（もりかわ たかよし）

久枝地区自主防災会連合会

パネルディスカッション（パネリスト）

コーディネーター 矢田部 龍一

藤島 寛昌
（ふじしま ひろまさ）
東雲地区自主防災会連合会会長
防災士

山田 耕二
（やまだ こうじ）
松山市立椿小学校教頭
防災士

村上 直美
（むらかみ なおみ）
松山市立石井幼稚園教諭
防災士

安田 和美
（やすだ かずみ）
ダイキ株式会社
防災士

烏谷 陽一郎
（からすだに よういちろう）
松山市消防団
道後分団長

このパンフレットは、愛媛大学の協力により作成しています。